

産業廃棄物処理計画書		令和4年6月1日
静岡県知事 川勝 平太 殿		
提出者		
住所 静岡県磐田市新貝2500番地		
氏名 ヤマハ発動機株式会社		
代表取締役社長 日高 祥博		
電話番号 0538-37-4007 (環境施設部直通)		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	ヤマハ発動機株式会社 袋井南工場	
事業場の所在地	静岡県袋井市新池700番地	
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	輸送用機械器具製造業【E31】	
② 事業の規模	ヤマハ発動機 袋井南工場 加工限界利益 7,927百万円	
③ 従業員数	716名	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	「別紙-1」のとおり	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

責任者	所属 : 製造統括部 マリンエンジン製造部 管理課 職・氏名 : 課長 ・ 袴田 憲彦
環境施設部	組織人数 6名
	廃棄物置場作業員 1名
	廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
	産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の管理 産業廃棄物定期分析の実施等
廃棄物削減 ワーキンググループ	廃棄物処理及び削減に関わる企画及び立案

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	「別紙-2」のとおり
	排出量	「別紙-2」のとおり t
	(これまでに実施した取組)	
		「別紙-2」のとおり
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	「別紙-2」のとおり
	排出量	「別紙-2」のとおり t
	(今後実施する予定の取組)	
		「別紙-2」のとおり

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	「別紙-2」のとおり
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	「別紙-2」のとおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙-2」のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	「別紙-2」のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		
			「別紙-2」のとおり
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙-2」のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	「別紙-2」のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		
			「別紙-2」のとおり
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙-2」のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	「別紙-2」のとおり	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	「別紙-2」のとおり	t
	(これまでに実施した取組)		
			「別紙-2」のとおり
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙-2」のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	「別紙-2」のとおり	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	「別紙-2」のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		
			「別紙-2」のとおり

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙-2」のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	「別紙-2」のとおり t	
	(これまでに実施した取組)		
「別紙-2」のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	「別紙-2」のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	「別紙-2」のとおり t	
	(今後実施する予定の取組)		
「別紙-2」のとおり			
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	「別紙-2」のとおり	
	全処理委託量	「別紙-2」のとおり t	
	優良認定処理業者への処理委託量	「別紙-2」のとおり t	
	再生利用業者への処理委託量	「別紙-2」のとおり t	
	認定熱回収業者への処理委託量	「別紙-2」のとおり t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	「別紙-2」のとおり t	
	(これまでに実施した取組)		
「別紙-2」のとおり			

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		「別紙-2のとおり	t
	全処理委託量		「別紙-2のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量		「別紙-2のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量		「別紙-2のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量		「別紙-2のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		「別紙-2のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)			「別紙-2のとおり
※事務処理欄				

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

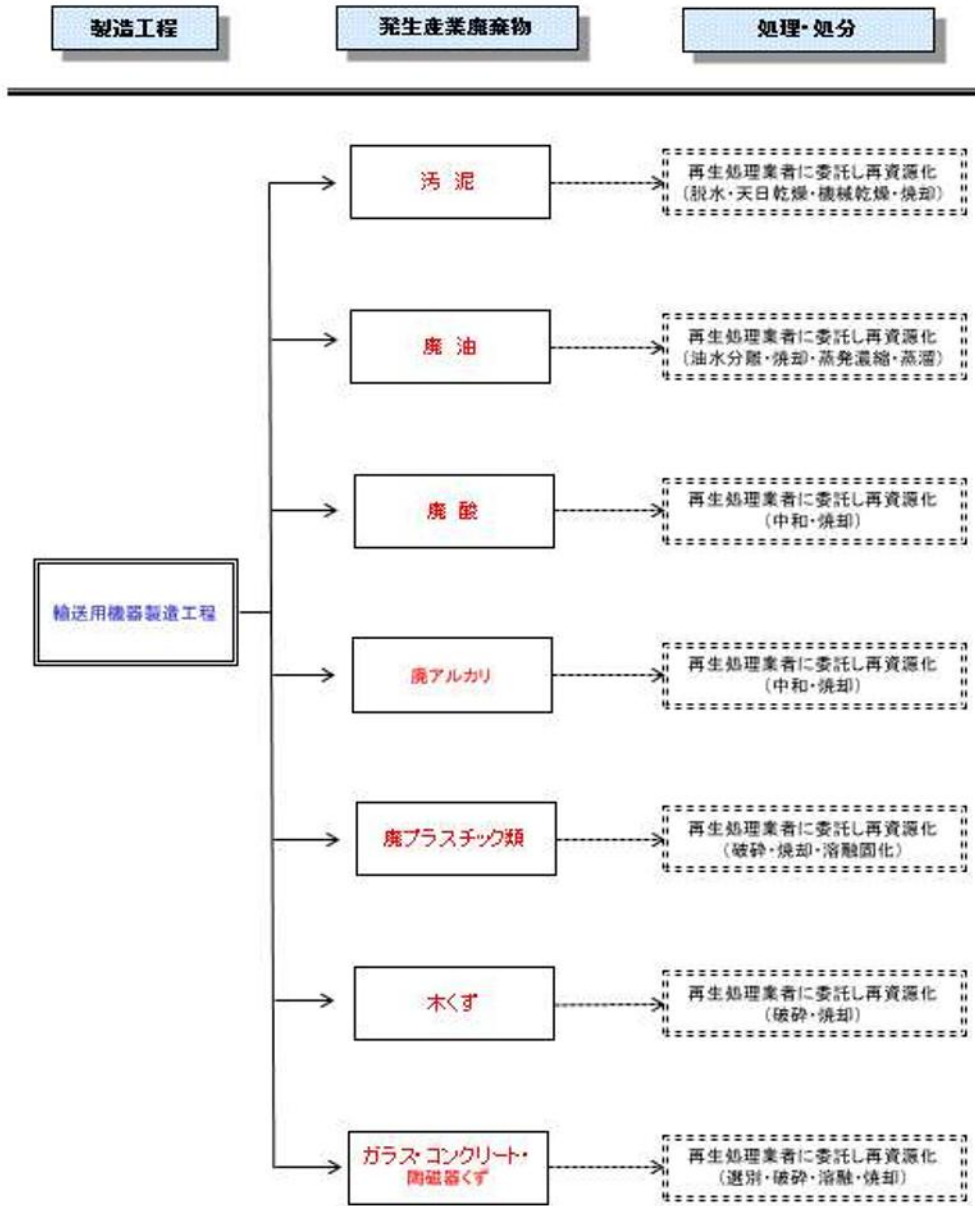
5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。

また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の種類			汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
項	目								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	①現状【前年度(令和元年度)実績】	排出量	142.540t	64.450t	2684.630t	213.980t	52.441t	2.280t	0.280t
		(これまでに実施した取組)	汚泥については減溶化を実施した。 廃油については有価化を行った。その他、再生利用を実施した。						
②計画【目標】	排出量	141.115t	63.806t	2657.784t	211.840t	51.917t	2.257t	0.277t	
		(今後実施する予定の取組)	引き続き減容化・有価化・再生利用を推進する。						
産業廃棄物の分別に関する事項	①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	それぞれ産業廃棄物の種類ごとに分けて保管している。						
		(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	引き続きそれぞれ産業廃棄物の種類ごとに分けて保管する。						
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	①現状【前年度(令和元年度)実績】	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組)	-						
②計画【目標】	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
		(今後実施する予定の取組)	-						
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	①現状【前年度(令和元年度)実績】	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組)	-						
	②計画【目標】	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)	-								
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	①現状【前年度(平成30年度)実績】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		(これまでに実施した取組)	会社の方針として間接埋立処分・海洋投棄無し実施中。						
②計画【目標】	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	
		(今後実施する予定の取組)	引き続き間接埋立処分・海洋投棄無しを実施する。						
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状【前年度(令和元年度)実績】	全処理委託量	142.540t	64.450t	2684.630t	213.980t	52.441t	2.280t	0.280t
		優良認定処理業者への処理委託量	142.540t	6.150t	2684.630t	0.000t	52.441t	2.280t	0.000t
		再生利用業者への処理委託量	142.540t	64.450t	2684.630t	213.980t	52.441t	2.280t	0.280t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	1.1 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)	優良認定処理業者を探し処理委託推進を行った。							
	②計画【目標】	全処理委託量	141.115t	63.806t	2657.784t	211.840t	51.917t	2.257t	0.277t
		優良認定処理業者への処理委託量	141.115t	6.089t	2657.784t	0.000t	51.917t	2.257t	0.000t
		再生利用業者への処理委託量	141.115t	63.806t	2657.784t	211.840t	51.917t	2.257t	0.277t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t	0 t	0 t	1.0 t	0 t	0 t	
(今後実施する予定の取組)	引き続き優良認定業者を探し処理委託を行う。								